

抗菌印刷セミナー開催 コロナ禍を考慮しWebを活用

日本WPA

(二社)日本WPA(田
畠久義会長)は9月9
日、オンライン形式によ

る「抗菌印刷セミナー」
を開催した。

同セミナーは、新型コ

ロナ禍の終息が見通せな
い中、印刷物に対しても

「安全・衛生」の要求が
高まり、「抗

菌印刷」に

強い関心が

寄せられて

いることが

ら、水なし

用抗菌イン

キを使用し

た「抗菌印

刷」につい

て、基礎知

識から印刷

の実務まで

抗菌印刷のメカニズムなどを解説



4. 抗菌メカニズム (Ag+の場合)

細菌

細胞内に取り込まれた銀イオン(Ag+)が、分裂に必要なたんぱく質を合成する酵素と反応して不活性化を増殖を抑える

ウイルス

エンベロープを持つタイプには銀イオンがエンベロープに付着し、他の細胞に侵入しにくくなり、エンベロープを持たないタイプには、取り込まれた銀イオンとカプシドが反応し

一般社団法人日本WPA WEBセミナー

を学ぶために開催された。
開催に先立ち挨拶した
田畠会長は、今回のセミ
ナーがコロナ禍を考慮し
て、オンラインでの開催
となったことを報告した
上で「従来型の1つの会
場」に人が集まる形のセミ
ナーでは望めないような
多数の聴講申込が集まっ
ており、これもウイズコ
ロナに向けた改革の1つ
の成果だと思う。今回の
セミナーが、ウイズコロ
ナという新しい社会の中
で、少しでも会員企業の
改革のサポートになれば
と考えている」と改めて
今回のセミナーの開催意
義について説明した。

今回のセミナーで講師
を務めた都インキ(株)常務
取締役の松本守氏は、抗
菌の定義やメカニズム、
そして近年、急速に取得
申請が伸びている抗菌製
品技術協議会「SIAA
マーク」の付与条件など
を説明。加えて同社が提
供している抗菌インキの
ラインアップおよび、そ
の機能性などについても
紹介した。